

平成25年度「原子力人材育成ネットワーク」報告会  
平成26年 2月 4日(火)  
飯野ビル4階 カンファレンスセンター

---

# 原子力若手討論会 活動報告と今後の課題

YGNJ連絡会長 西山 潤（東工大）



# YGN-Japan 2つの顔



世界

国内

## 日本原子力学会の連絡会

学会下部組織、5連絡会（海外情報、学生、**原子力青年ネットワーク（YGN）**、シニアネットワーク、核不拡散・保障措置・核セキュリティ）の1つ



## 世界YGN組織の一員としての日本YGN

世界主要国（40か国以上）に公式YGNが存在し、同様の目的で活動を行っている。

国際的な若手の情報交換会議として、**原子力青年国際会議（IYNC : International Youth Nuclear Congress）**が、2年毎に各国YGNにより持ち回りで運営されている。

⇒2012年 8/5-11 IYNC2012@Charlotte, USA

⇒次回は、2014年 7/6-12@Burgos, Spain



# YGN-Japan 活動目的

## □■ YGN活動基本方針と目的 ■□

**自ら出来ること・やりたいことを模索し、実際に活動する！**

活動を通じて、日常業務や個人レベルでは得られない、若手のレベルアップの場を提供する。また、若手からも意見発信を行うことにより、原子力業界全体の発展・活性化を図る。

## YGN-Japan 会員

便宜上若手の定義は35歳以下

しかしYGNの活動趣旨にご賛同頂ける方であれば、年齢、原子力学会会員/非会員にかかわらず、YGN活動に参加可能。会費は**無料**です。

- YGN会員 : 35歳以下（4/1時点）の原子力学会会員
- YGN特別会員 : 36歳以上（4/1時点）の原子力学会会員
- オブザーバ : 非原子力学会会員

# 原子力若手討論会(NEFY)

---

第1回原子力若手討論会 2012年6月1日

テーマ 「日常の業務・生活を通じて感じる**問題意識**」

第2回原子力若手討論会 2013年6月7、8日

テーマ 「今後**10年以内**で若手が実施すべきこと」

**第3回原子力若手討論会 2014年6月6、7日(予定)**

開催にあたって、

人材育成ネットワーク、日本原子力産業協会、原子力学会から支援

## チャタムハウスルール

会議で得られた情報は、参加者個人の責任の下で利用することができるが、発言者の氏名や所属等については秘匿する義務を負う



グループ討論の様子

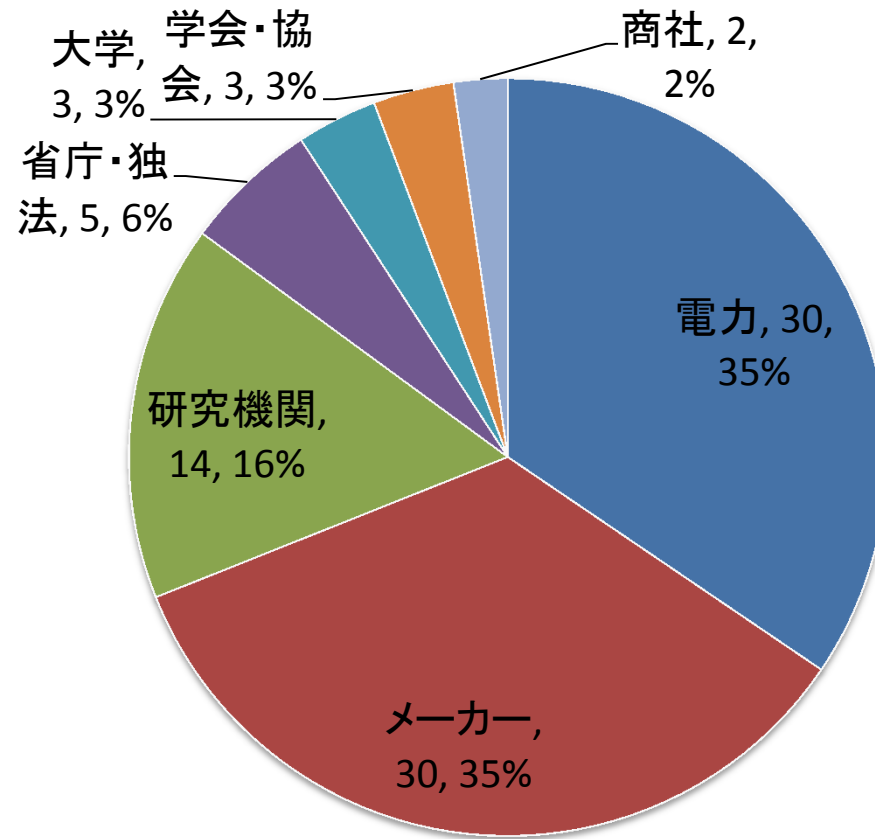
# 第2回原子力若手討論会 概要

---

- 日時 2013年6月7日(金)13:30-18:15  
8日(土)10:00-16:00
- 場所 東京工業大学 蔵前会館くらまえホール
- 参加者 国内原子力関連企業・団体の若手社会人 88名  
(オブザーバー、運営スタッフ(学生)15名)
- 目的
  - ・それぞれの問題意識を共有し、視野を広げること
  - ・将来について自ら考えるきっかけを得ること
  - ・組織を超えた若手間の人脈を築くこと
  - ・原子力業界の将来へ向けた**具体的な活動の模索**
- 内容
  - グループディスカッション  
「今後10年以内に若手が実施すべきこと」
  - 招待講演

# 参加者

- 参加者88名
  - 1日目:64名
  - 2日目:67名



参加者のうち  
原子力学会員は1/3

# 招待講演

---

1日目 講師:田川明広氏  
～ 福島復興の最前線の現場から学ぶ～  
『 Deep Inside ～ 20年後の原子力～ 』



2日目 講師:班目春樹氏  
～ 理想的な原子力安全規制とは～  
『 原子力に関わる若手に望むこと 』

# グループディスカッション

---

前回

問題意識の共有



今回

具体的なアクションプラン

今後10年以内に若手が実施すべきこと

1. 最終処分問題(最終処分地、核燃料サイクル)
2. 福島再生(除染、廃炉)
3. 原子力安全(新安全基準、再稼働)
4. 研究開発(次世代炉、放射線利用)
5. 国際協力(プラント輸出、福島経験、人材供給)
6. 人材確保・育成

期間は10年

実際に自分たちがなにを  
するのか。  
できない理由を探すの  
ではなく、実行するた  
めにどうすべきかを考  
えよう。



# グループディスカッション

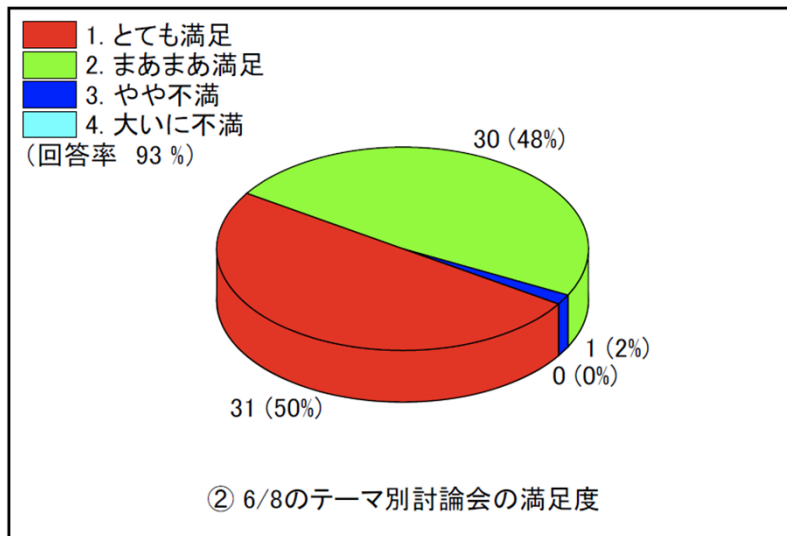
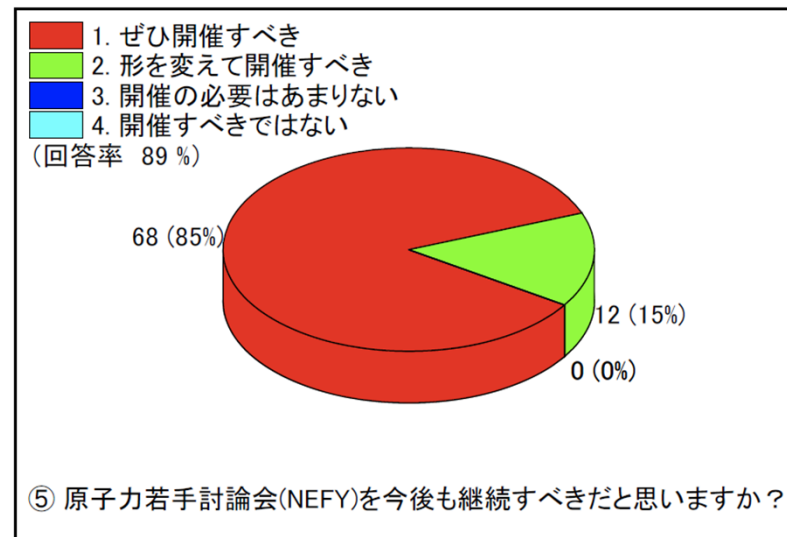
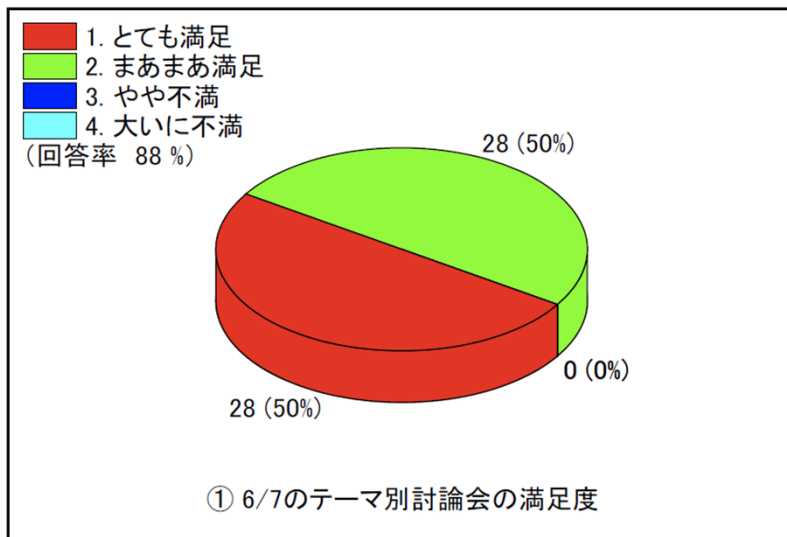
- 事前アンケートから興味があるテーマを選択
- 業種などがなるべく被らないようにグループ分け

## グループ分けと参加人数

	1日目		2日目	
	グループ数	人数	グループ数	人数
1.最終処分問題	0	0	1	10
2.福島再生	2	12	1	10
3.原子力安全	4	30	3	24
4.研究開発	0	0	1	7
5.国際協力	1	9	1	10
6.人材確保・育成	1	7	1	6

新規制基準に関連して、再稼働にテーマが集中

# 参加者アンケート



ほぼ全員が討論会に満足。  
今後も継続してほしいとの意見。

# 感想（アンケートより）

---

- 良かった点

- 各企業の考え、意見などを聞けて、自分の視野が広がった
- 深い知識に感銘を受け、モチベーションが上がった。
- 新しい課題に気づくことができ、それに対するアクションプランを作ることが出来た

当初の若手討論会の目的を達成

- 不満点

- 技術的な討論がもの足りないと感じた。
- 「新規制基準」規制側の若手の人、「人材育成」教育側の人（先生等）が参加してほしかった。

討論のグループ分けやテーマ設定  
参加者の属性など検討課題が残る

# 課題

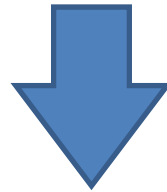
---

- 討論会について
  - 参加者が偏っている: 規制側、女性、学生
  - テーマの選択
  - 議論の方向性
- 運営体制・広報について
  - 運営委員
  - 資金
  - 広報・ネットワーク
- 活動への理解
  - 個人、組織、社会

# まとめ

---

- 原子力内の多様なバックグラウンドの若手が討論
- 題材は“自分たちが実行すべきアクションプラン”



- 多数の参加者、活発な議論
- 参加者の満足度：高（視野・刺激・人脈（交流））
- 継続開催、もっと深い議論、他産業・規制側・マスコミとの意見交換、アクションプランを**具体的な活動へ**  
→ 今後のYGN活動へ